

# 児童館 利用者の声

【お子さん2歳半と1歳3ヶ月】利用頻度 週2  
東寺方児童館がやっぱり使いやすい。おもちゃも充実している。  
駐車場、図書館、公園と揃っていて利用しやすい。  
そして何より職員さんがとても良い。安心して来ることができる。  
一の宮も行く人が多く、東寺方児童館が安心して遊ばせられる。  
トイレに行きたいときにお願いできるのでとても助かっている。  
駅前のお友達にもオススメしている。  
トイレトレーニングはまだなのですが、個々のトイレは暗いし怖い。  
外で遊べることも重要。  
前世代で利用できることは良いこと。  
職員さんのお部屋（事務所）がもう少し近いと良い。

【お子さん2歳】利用頻度 毎日  
多摩保育園も利用している。  
ずっと居なくても良いが職員さんがいることは必要。ママ同士で話せるので。  
大人と話せる場が欲しい。  
職員さんが気にかけてくれる。安心感がある。  
実家が遠いから親以外で心のケアをしてくれる存在。  
居場所としてとても重要な場所。  
小学生以上と乳幼児の部屋が分かれていることで時間帯関係なく遊ばせられて助かる。  
広いからできる。  
地域に見守ってもらっている。と感じる。

【お子さん 小5 2歳】利用頻度 週2  
ぐりぐらルームがお気に入り。  
おままごとで遊ぶと長くなる。お昼を持ってきて午後も遊ぶことが多い。  
トイレは使用しない。（ようにしている？）  
小5の長男はよく一人で遊びに来ている。  
職員さんがいてくださるから安心して居る。  
なじみある顔見知りの職員さんがいることは安心感につながる。  
広さもとても大事。動き回りたい年頃の子にとって広くて動き回れることは遊ぶ場所を選ぶうえで重要。  
愛宕になったら行かない。近所にありとても助かっている。

【お子さん2歳】利用頻度 週1  
公園も利用。  
東寺方児童館は広さが魅力。  
おもちゃも充実していてとても利用しやすい。  
ここに来ればだれかしらいる。  
職員さんたち、みなさん良い方ばかり。居心地が良い。  
居なくなるとは困る。

【お子さん 2歳】利用頻度  
八王子在住  
時間で区切られていて乳幼児コーナーのようなものがない。  
使いたいものは職員さんにお願いして出てくる。食事用のテーブルも。  
いつでも行けるわけではない。  
八王子より多摩市利用している。  
児童館などにあるおたよりで情報収集している。  
おもちゃが充実していて、スペースが広いのが良い。  
図書館もあり、駐車場もあるのでとても便利。  
赤ちゃんスペースが分かれているのが良い。現状で満足している。ほしい機能とかは特に浮かばない。  
ママ同士だとお話したい人がそうでないかの判断が難しいため職員さんには気軽に話しかけることができる。気兼ねなく話したいことが話せてとても助かっている。

【お子さん2歳】利用頻度 週1  
月曜にイベントがあるので来ている。  
午前・午後と来ることが多い。  
スペースが広い。  
職員さんがとても良い。  
トイレは古くトイレしにくいと感じる。  
外にも遊具が必要。

【お子さん 9ヶ月】 利用頻度 三回目  
施設の古さ、清潔さは気になってしまうポイント。  
アレルギー持ちなので気になってしまう。  
トイレは特に気になり利用できない。  
施設の綺麗さで行く場所を選んで居る。

4日実施 ご回答くださった方9名  
現在利用されている方のお話を伺い、リアルな声を協議会に反映させたい。  
今回実施するにあたり利用者の多い時間帯に伺うことが難しく実施回数が少なくなりました。  
必要であればまた実施したい。

【お子さん2歳】日野在住 初めて利用した  
とても充実している。  
駐車場があることもとても助かる。  
日野は施設利用するのに予約が必要（コロナ禍から？）  
予約しなくても良いことがとても助かる。

【お子さん 9ヶ月】 利用頻度 毎日または2日に1回 中国の方  
午後利用することが多い。  
職員さんにいろいろ聞いて助かっている。  
施設の利用方法もわからず教えてもらった。（細かいところ）  
トイレは利用しない。  
職員さんがいないとなると利用を考えると。  
職員さんの存在が大きい。外国籍の方にとっては児童館などの市の施設を利用する際に職員さんを頼らないとわからないことが多い。安心感。  
児童館が心の拠り所になっている。

## ☆あったらよいと思う機能☆

- ・ 飲み物の自販機や簡単な食事などあったら助かる。
- ・ 離乳食やおむつのサンプルなどあったら良いなと思う。（アンケートに答えるなどしてもよい）企業とコラボ？
- ・ ビビットカラーを使ったり、一目見てそこがキッズスペースだとわかるような床にするのが良い。写真を撮った時にも映える。
- ・ 映えるスポットには人も集まる。
- ・ フォトスポット（毎月変わるなどの変化も必要）寝相アートができるスポットや幼児の写真をかわいく撮れるアイテムを置いておくと良いのでは。

# まとめ

全体として、「広々としたスペース」「充実したおもちゃ」「職員さんの質の高さ」が大きな魅力となっており、保護者にとっての心理的なセーフティネット（居場所）として機能している様子が伺えます。

## 1. 施設の魅力とメリット

**環境の利便性:** 駐車場があり、図書館や公園が隣接しているため、1箇所で複数を完備している点が非常に高く評価されています。

**物理的な広さ:** 小学生と乳幼児のスペースが分かれているため、時間帯を気にせず安心して動き回れる点が好評です。

**予約不要:** 他自治体（日野市など）と比較して、予約なしでふらっと立ち寄れる気軽さが重宝されています。

**おもちゃの充実:** 種類が豊富で、子供が飽きずに長時間遊べる環境が整っています。

## 2. 「職員さん」の存在意義

**安心感と心のケア:** 相談に乗ってくれたり、トイレの際に子供を見ていてくれたりと、親の孤独感を解消する「実家のような存在」になっています。

**多文化共生の場:** 外国籍の利用者にとっても、利用方法を細かく教えてくれる職員さんは、施設を利用する上での不可欠なガイドとなっています。

**コミュニケーションの起点:** ママ友同士では気を遣う会話も、職員さん相手なら気兼ねなく話せるといった声が多く、スタッフの常駐が利用の決め手になっています。

## 3. 課題点と改善要望

**トイレの老朽化:** 「暗い・古い・怖い」という意見が目立ち、トイレ中の親子には使いにくく、利用を控えるケースも見られます。

**施設の清潔感:** アレルギーを持つ親からは、古さゆえの衛生面を懸念する声があります。

**動線:** 事務所（職員室）がもう少し近くにあると、より声をかけやすいという意見がありました。

## 4. 今後のニーズ（あったら良い機能）

**飲食・利便性:** 飲料自販機や軽食販売、離乳食・おむつのサンプル提供など。

**SNS・写真映え:** 毎月変わるフォトスポット、寝相アート用の備品、明るく映える床のデザインなど、「写真を撮りたくなる空間」への期待。

**屋外設備:** 外で遊べる遊具の拡充。

# お風呂 利用者の声

お話を伺いに行き始めたタイミングでお風呂の修理期間に入ってしまったため、実施回数が少なくなりました。

3日実施 ご回答くださった方8名  
現在利用されている方のお話を伺い、リアルな声を協議会に反映させたい。

【利用頻度】 来られる日は来ている。週によって違う。  
建て替えでも改修でもどちらでも良いが、お風呂は残してほしい。  
利用料がかかっても（あまり高いと困るが）利用したい。  
市民にとっていざという時なくてはならない物ではないか？  
シルバーパスがあるから利用しやすいため通っている。  
麻雀も利用している。  
多世代利用できる施設になることはあまり良いとは思わない。指示がないとできない子が増えている。世代間のギャップを感じる。  
共同利用することは難しいのではないかな？

【利用頻度】 週3～4回  
お話できる場。  
近くにあることが重要。  
朝お風呂に入ることで一日のリズムが整う。

【利用頻度】 毎日  
近くだから便利。  
麻雀を時々利用している。

【利用頻度】 ほぼ毎日  
使ってるのはお風呂のみ。  
1年ぐらい通っている。  
麻雀はわからない人は入りづらい。  
近くにあることも重要。

【利用頻度】 その週による  
認知症のお姉さんと来ている。  
認知症だがお話はふつうにできてしまうため、周りには気づかれていないかもしれない。  
軽度と思われ認定受けられない。  
どうしたら良いかな？などの情報も得られたらと思っている。  
自宅のお風呂が寒いのでこちらのお風呂は非常に助かっている。

【利用頻度】 来られる日に来ている。  
お風呂のみ利用。  
利用料がかかったら利用しないと思う。  
お風呂の中でも待っている間も会話を楽しんでいる。

【利用頻度】 週3くらい  
福祉センターのお風呂は予約が必要。  
待っていれば入れるので良い。  
利用料はスーパー銭湯や銭湯より安ければ利用する。  
衛生面も気になるため朝一で利用するようにしている。  
情報交換の場になっている。  
高齢者はお風呂での事故などが怖い。安心して入れるので助かる。  
家のお風呂が寒くて使えない（ヒートショックの危険や転倒の危険）

【利用頻度】 その週による  
生命線。  
なくなっては困る。  
鶴巻から運動のためにも通っている。  
足が上がらないので、こちらは非常に入りやすい。  
足がポカポカになる。  
広く足がのばせてとても良い。

☆お聞きした皆さん共通のご意見☆

- ・お風呂がなくなってしまうのは困る。（修理中の現在も困る）
- ・利用料が掛かっても利用したい。（料金については100円～300円くらいなら支払えるかな・・・。）

## まとめ

多くの利用者にとって、施設のお風呂は単なる入浴の場を超え、「健康維持」「安全確保」「社会的交流」の3点を支える不可欠なインフラ（生命線）となっていることが伺えます。

### 利用者の意見・要望まとめ

#### 1. 存続への強い要望と費用負担

存続は必須：修理中の現在も不便を感じており、建て替え・改修問わず「お風呂を残してほしい」という声が圧倒的です。

利用料の許容：多くの方が有料化（100円～300円程度、銭湯より安価であれば）を受け入れる意向ですが、一部「有料なら利用しない」という意見もあり、慎重な価格設定が求められます。

#### 2. 施設が果たしている重要な役割

身体の安全と健康：「自宅の風呂は寒くヒートショックが怖い」「足が上がらないので施設の風呂が入りやすい」など、バリアフリーで安全な入浴環境が、高齢者の事故防止に直結しています。

精神的・社会的交流：単なる入浴だけでなく、情報交換の場、会話を楽しむ場、1日のリズムを作る場として、孤独感の解消や認知症ケアの側面も持っています。

利便性：「近くにあること」「シルバーパスで通いやすいこと」が、日常的な利用を支える大きな要因です。

#### 3. 運営・環境面での懸念

多世代共用の難しさ：世代間のギャップや子供への対応に不安を感じる声があり、多世代交流に対しては慎重、あるいは消極的な意見が見られます。

衛生と安全：衛生面への配慮から朝一番を利用する層や、万が一の事故に対する安心感を求める声があります。

情報の集約：介護認定の相談など、生活上の困りごとに関する情報提供の場としてのニーズも存在します。

いろいろな意見が出ることに對しきりがないと切り捨ててしまうのではなく、アンケートなど実施することに加え、こちらから出向き様々な意見に耳を傾け、あまり意見することのできない方にも寄り添う、みんなに優しい施設にしなければならないのではないかと感じました。